

"Laboratory and Analytical Devices Standard" LADS OPC UA最新情報と今後の展望

2023年12月 日本分析機器工業会(JAIMA) 技術委員会 調査小委員会 LabDX WG 石隈 徹

目次



- 1. JAIMA技術委員会/調査小委員会LabDX WGの紹介
- 2. ラボラトリの現況
- 3. ラボの将来の姿と狙いたい効果
- 4. LADS OPC UA開発/公開準備状況
- 5. LADS OPC UA今後の展開
- 6. 最後に

1. JAIMA技術委員会/調査小委員会LabDX WGの紹介

■(一社)日本分析機器工業会

Japan Analytical Instruments Manufacturers' Association

https://www.jaima.or.jp/

分析機器に関する研究・調査、分析機器に関する技術の向上、分析機器の需要開 拓、分析機器工業の高度化などに関する事業を展開

■技術委員会

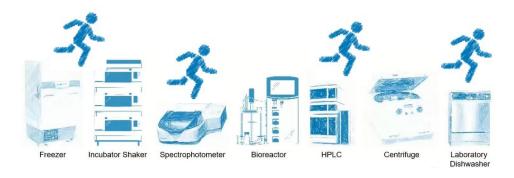
 分析機器が貢献する社会課題解決の場やその動向を調査し、それを支える分析 技術および分析機器の性能、品質、関連サービスの改善・向上を目指した事業活動を会員企業協働で行う



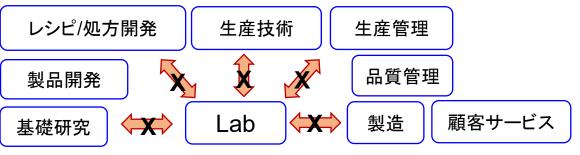
2. ラボラトリの現況



1. 分析・前処理などの高度な機能を有した機器が単体で利用され、操作・データ処理が一貫したシステムで運用されていない。人の手による試料(分析・実験対象物)の輸送/ローディング/アンローディング、データ収集・解析にたよるため実験・研究の生産性が上がらず研究者も創造的活動に時間が使えない。



2. 製造業では「プロセスオートメーション」と「ラボラトリオートメーション」が異なる環境で運用されており、ラボと研究・製品開発、品質管理、製造間での機能連携やデータ共有・運用が効率よくなされていない。









































3. ラボの将来の姿と狙いたい効果



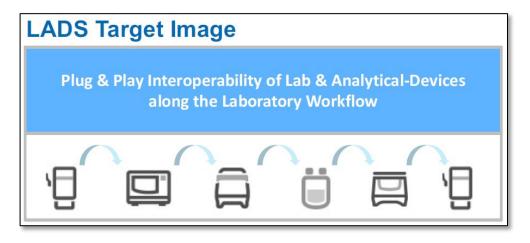
- 研究・開発にかかる時間とコストを最適化するために
 - ① 人と機械による速やかなワークフローの実行(オーケストレーション)ができること
 - 1. ラボ機器のメーカや機種による違いを意識しない仕事の進め方
 - 2. 繰り返し操作の自動化、"ワーク"の遠隔地からの監視/操作
 - 3. ラボ機器が常に使える状態にしておく保守との連動
 - ② ワークフローに合わせて機器の組み合わせ/順序変更が短時間で行えること

③ ワークフローの計画/実行と、結果データの解析·評価情報を、 他部門/組織 示されている意味とともに管理・提供できること LIMS 解析・評価 環境データ/情報 ワークフローの計画/実行/結果報告 作業指示 確認 Device #1 Device #2 Device #3 Work 1 Work 2 Work 3 Work 4 Work 5 Work 6



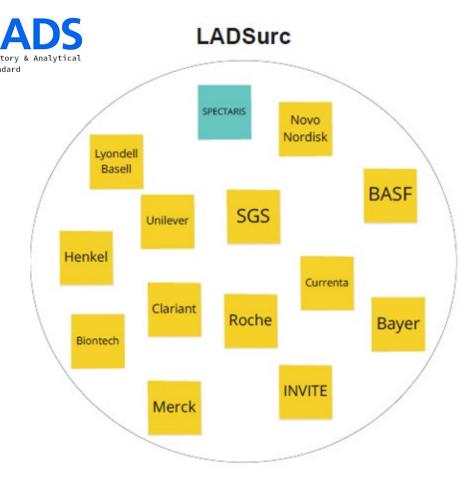
① LADS (Laboratory and Analytical Device Standard) とは

• 国際標準IEC 62541 (OPC-UA) をベースとして応用し、 分析機器/ラボ用機器/アプリケーションが**互いに理解できる情報や指示を伝え、連携稼働が行える** ための**ラボ業界特化型 情報モデル(Information Model)**のこと



② 開発団体/企業

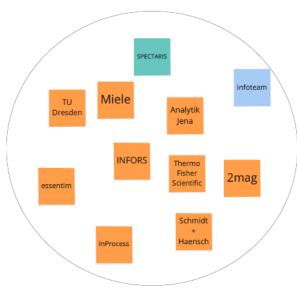
- 欧州ユーザの要求でスタート ユーザ・レビュー・コミティ(urc)としても参画
- 国際7団体を起点に欧米日の機器メーカ、 ソフトウェア・サプライヤ、インテグレータ50社以上が Joint Working Groupメンバー
- スポンサーが2023年には51社に拡大



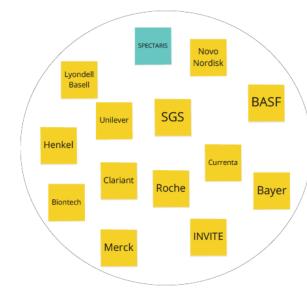
LADS OPC UA: Partners



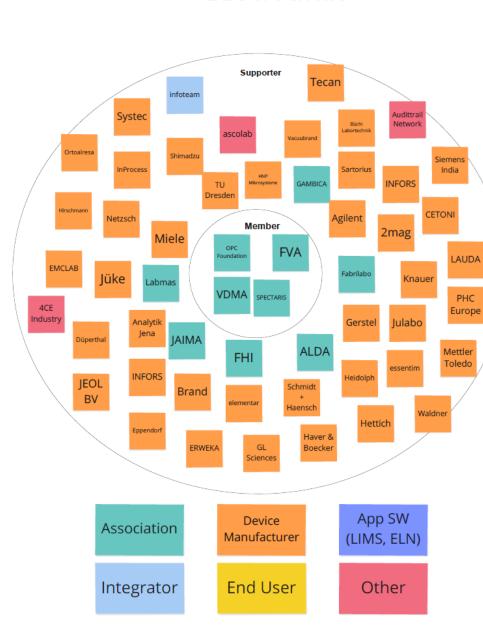




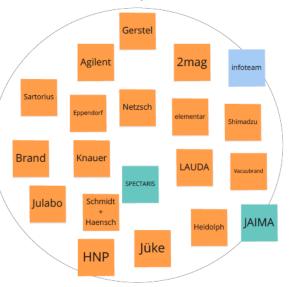
LADSurc



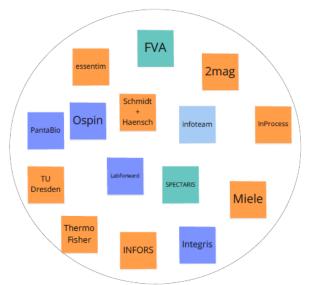
LADS OPC UA JWG



LADS Sponsor



LADShack



LADS OPC UA: Funding members & supporting companies

















- 独SPECTARIS: 光学/分析/医療機器工業会
- 独VDMA:ドイツ機械工業連盟
- 米OPC Foundation: OPC協議会
- 日JAIMA:日本分析機器工業会
- 英GAMBICA:英国分析·制御·自動化機器工業会
- 西LABMAS:ラボラトリ機器工業会
- 蘭FHI:技術産業連合









































































































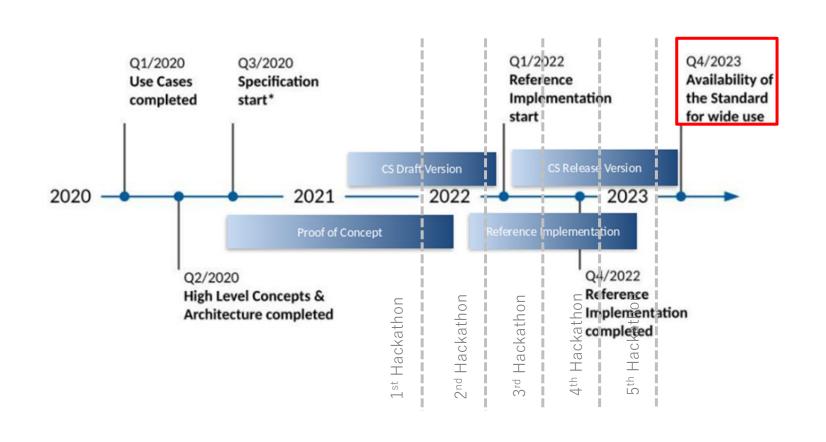


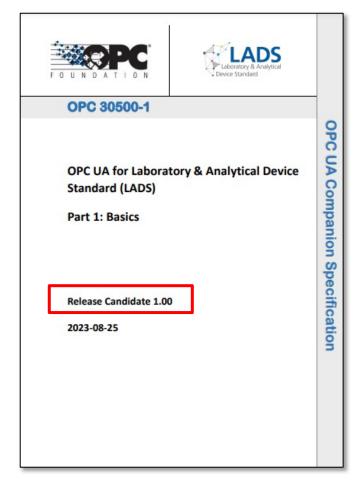
LADS OPC UA: ユースケース

Remote Monitoring, Alarms & Notification Remote Control	遠隔モニター、アラーム信号等の送受信 遠隔操作	Basic Automation
Program Management & Orchestration Results Management	複数機器を協調動作させるプログラム管理機器から出力されるデータの管理	Orchestration
Preventive & Predictive Maintenance Device & Fleet Management	予防・故障予測に基づく保守 個別機器や機器群のリソース管理	Service & Asset Management



- ③ 開発・公開・準備スケジュール
 - 2023年9月に第5回ハッカソン(サーバ開発実習/インテグレーションテスト)をドイツで実施
 - JAIMAより最終ドラフトへのコメント提出
 - 2023年4Qに仕様書とLADSサーバ・ソフトウェア・サンプルを公開予定

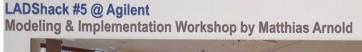






- 第5回ハッカソン(サーバ開発実習/インテグレーションテスト)
 - OPC FoundationからStefan Hoppe PresidentとFilm Teamも参加







LADShack #5 @ Agilent Concentrated Hacking ..



LADShack #5 @ Agilent
Open Collaboration, Working Side by Side ..

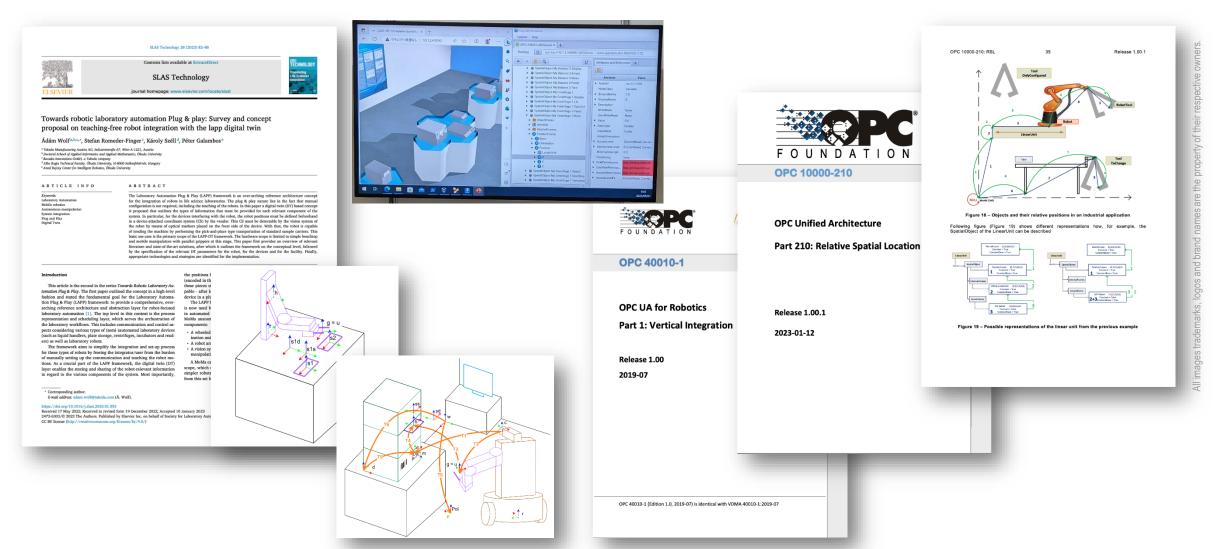


5. LADS OPC UA今後の展開



④ 他のCompanion SpecificationとLADSの併用へ

• 例: Collaborative and Mobile Robots in Lab-Automation



6. 最後に



■ JAIMA調査小委員会LabDX WGはOPC Foundation/日本 OPC協議会、およびOPC Foundation会員企業をはじめ、様々な分野の企業・機関・組織の皆様との連携を通じて、将来像に向かっての「協調アプローチ」を推進してまいります

- ご質問やアドバイスなどのお問合せ/ご連絡先:
 - ➤ 日本分析機器工業会(JAIMA)

https://www.jaima.or.jp/

E-mail: webmaster@jaima.or.jp





ご清聴ありがとうございました



Bridging the Gap, Connecting the Lab!